

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ！！
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



スマートフォンなどにより二次元コードを読み取って支払い

「まきパイ」で物価高騰対策

■「まきパイ」ポイント還元キャンペーン第1弾
市デジタルポイント「まきパイ」のポイント還元キャンペーン第1弾が、8月1日から31日まで開催されています。

これは市内の約260店舗で利用できるキャッシュレスポイントで、原油価格・物価高騰により大きな影響を受けている市民や事業者を支援するために実施。還元率は最大20%で、獲得上限は1人1会計につき最大1,000ポイント（期間中最大3,000ポイント）です。今後、10月1日から31日までの期間でキャンペーン第2弾が行われます。

宝くじ助成金で消火活動の資機材を整備

■自治総合センターコミュニティ助成事業

新庄区では6月下旬、宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターが行う「地域防災組織育成助成事業」を活用して、消火活動で使用する資機材を整備しました。

整備した資機材は、可搬ポンプ（C-1級）、ポンプ用台車、吸管、管鎗、消防ホースです。

この事業によって、自主防災会の充実や強化が図られるとともに、災害時の初期消火活動など、地域の安全安心を守るために有効に資機材が活用されます。



新庄区で整備した可搬ポンプや消防ホースなど

サーフィンの楽しさにRIDE ON！

■サーフィン体験会／川崎小学校

川崎小学校6年生は7月22日、地元のサーフィン関係者などの協力の下、「サーフィン体験会」を開催しました。

同校では初めての開催で、中には初めてサーフボードに乗る児童もいました。児童はパドルング（手でこぐ動作）やボード上に立ち上がる練習を行いながら、25メートルプールを何回も往復。ボード上でのバランスに慣れてくると、ライディングの速度を速めたりポーズを決めたりと、サーフィンの楽しさを満喫しました。



関係者の助言を受けながらサーフィンを楽しむ児童



会場に並べられた「まきのはらグルメ」を試食

まきのはら自慢のグルメが大集結

■「まきのはらグルメ」お披露目会・試食会

市は8月1日、「まきのはらグルメ」お披露目会・試食会をミルキーウェイクスクエアで開催しました。

地産地消の促進と飲食業界の活性化支援などを目的としており、市内店舗などから地元の食材を生かした自慢の料理を募集しました。

「ランチ部門」18品と「スイーツ部門」22品の出品があり、総投票数2,379票。会場では各部門の上位5つの発表のほか、実際のメニューの試食会も行われました。参加者は料理について意見交換し、親子や友人と楽しんでいました。



関係者の出迎えを受ける第1便の搭乗者

開港以来初となる青島線就航

■「静岡ー青島線（青島航空）」が新規就航

富士山静岡空港で、開港以来初となる「静岡ー青島便（青島航空）」が7月17日から運航開始され、就航第1便到着の出迎え、青島（中国山東省）への出発便の見送りが行われました。

青島は中国有数の港湾・商工業・国際都市。本路線は静岡と青島を結ぶ初の定期旅客便で、木曜日の週1便が運航されており、静岡から約3時間で青島に到着することができます。第1便では乗客約120人が降り立ち、県職員や空港関係者などが記念品を手渡して、就航を祝いました。

牧之原市の暑い夏、到来！

■海水浴場海開き

さがらサンビーチ、静波海水浴場の海開きが7月18日に行われ、両海水浴場でシーズン中の安全を祈願する神事が行われました。

さがらサンビーチでは、安全祈願神事後、認定こども園すすき幼稚園の園児による初泳ぎが行われ、園児は一斉に海へと走り出し、波をジャンプしたり海水をかけあったりと、本格的な夏の海を満喫しました。その後、日本水難救済会によるAED講習会が行われました。両海水浴場での遊泳期間は、8月31日までの予定です。



すすき幼稚園園児による初泳ぎ

地域で「べらぼう」を盛り上げる

■歴史スタンプ道中〜いざ、鳶重を知る駿府・藤枝・牧之原の旅〜

「歴史スタンプ道中〜いざ、鳶重を知る駿府・藤枝・牧之原の旅〜」が、市史料館などで12月21日まで開催されています。

大河ドラマの放送により、江戸時代中期から後期の文化への興味が高まっていることから、関連展示を開催する牧之原市史料館、藤枝市郷土博物館、静岡市歴史博物館の合同企画として開催しているもの。3館のスタンプを全て集めた参加者にオリジナル景品を進呈します。前期と後期で景品が変わりますのでぜひご参加ください。



3館にスタンプを設置（写真は市史料館）



自分で実際に入れて会員とお茶の入れ方を学ぶ細江小の児童

入れて、飲んで、触れてお茶を学ぶ

■第20回一番茶品評会・お茶教室

市認定農業者協議会の一番茶品評会が7月10日、い〜らで開催されました。

同会員の茶工場から47点の一番茶が出品。外観や水色、香気、滋味の4項目について審査されました。最優秀賞には、名波靖功さん（相良支部）のお茶が選ばれました。また、静岡牧之原茶に親しみを持ってもらおうと、市内小学生3年生を対象にお茶教室を開催。招待された市内7校の児童は、お茶の入れ方を学んだり審査会場を見学し茶葉に触れたり、お茶について学習しました。